

一般社団法人日本ショッピングセンター協会
2023年度夏季定例記者懇談会



一般社団法人
日本ショッピングセンター協会

Index

- I. 2023年上期（1～6月）SC業界の動向
- II. 2023年下期（7～12月）
オープン予定のSC等商業施設
- III. 協会の主な取り組み
- IV. 今後の予定

I . 2023年上期 (1~6月) SC業界の動向

I. 2023年上期 SC業界の動向

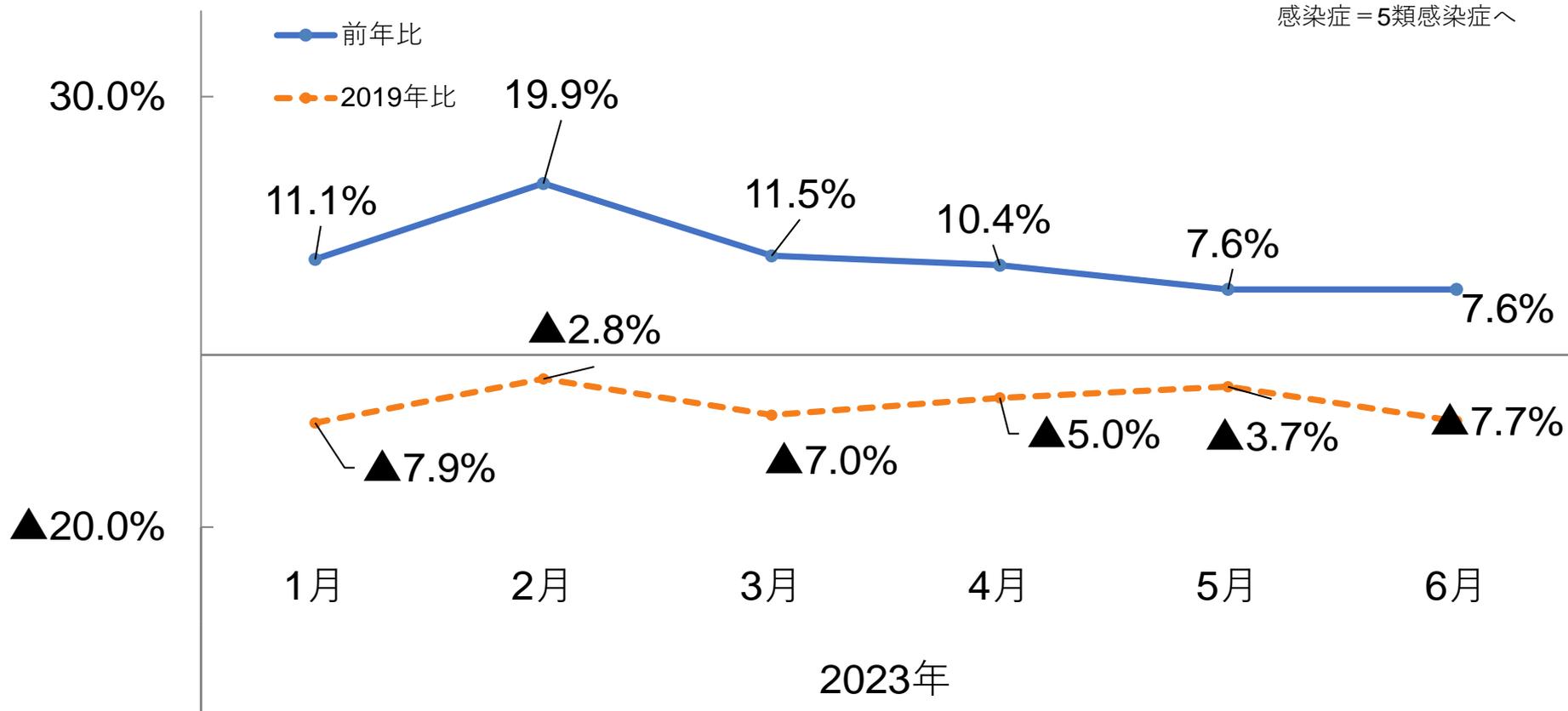
1. 2023年上期（1～6月）SC販売統計調査報告

インバウンドや全国旅行支援により旅行客などの来館が増え、前年超え

全国旅行支援再開

▼3月13日 マスク着用 = 個人の判断が基本に

▼5月8日 新型コロナウイルス感染症 = 5類感染症へ



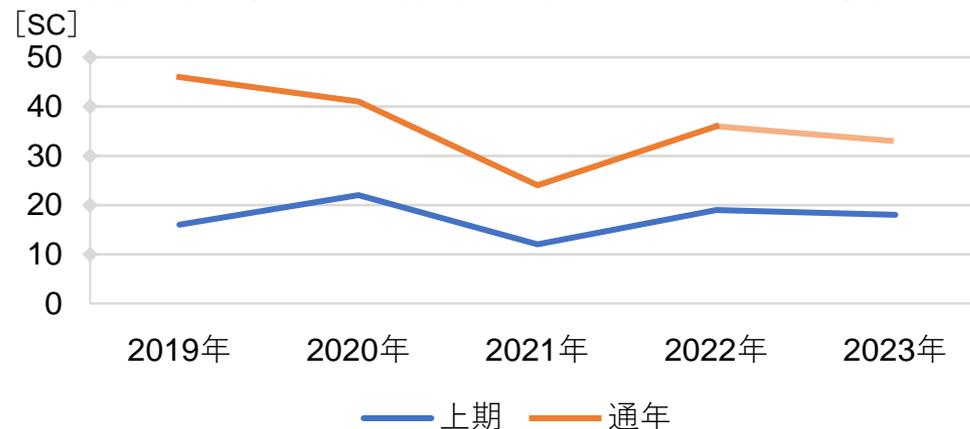
I. 2023年上期 SC業界の動向

2. 2023年上期（1～6月）オープンSCの概要

18SCがオープン。半数以上が店舗面積1万㎡未満で平均店舗面積減少

上期(1～6月)					
	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
SC数	16SC	22SC	12SC	19SC	18SC
平均店舗面積	19,923㎡	15,171㎡	17,999㎡	17,566㎡	16,919㎡
平均テナント数	39店舗	57店舗	56店舗	49店舗	53店舗

新規開業SC数推移（2019～2023年）



都道府県別オープンSC数

オープン数	都道府県
3SC	東京、
2SC	神奈川、静岡、 大阪、福岡

I. 2023年上期 SC業界の動向

2. 2023年上期（1～6月）オープンSCの概要

オープンSCの主な特徴

『①アウトレットモールのデイリー需要強化』 『②大型商業施設跡地の複合開発』

キーワード①

『アウトレットモールのデイリー需要強化』

食などのデイリー需要や、飲食やエンターテインメントなどのコト消費に対応する専門店を強化し、近隣客を取り込む戦略がみられます。

例) 三井ショッピングパーク ららぽーと門真・
三井アウトレットパーク 大阪門真



日常と非日常を同一空間に凝縮させ、リアルの価値がより重要視されている中で、商業施設としての新たな価値を追求します。

キーワード②

『大型商業施設跡地の複合開発』

百貨店やSC、GMSなど大型商業施設が閉店した跡地に、商業を含む複合施設が開発されるケースが目立ちます。

例) THREE



旧「中三青森店」跡地に開業。分譲マンションと衣食住や医療関係などのテナント、マルシェなどからなります。

I. 2023年上期 SC業界の動向 3. SCの取り組み紹介

(1) インバウンド再始動で、SCの“おもてなし”再び

2022年10月、日本政府が水際対策を大幅緩和し訪日個人旅行の受け入れを再開。開業延期していた観光系複合施設がオープンしたほか、都市部・観光地のSCを中心に、訪日客の消費獲得に向けた取り組みが再び活発化しつつあります。

事例) 住友不動産 ショッピングシティ 羽田エアポートガーデン (東京都大田区)

コロナ禍の影響で2年以上にわたる開業延期を経て2023年1月に全面開業した羽田空港直結のSC。3月に都内初となる観光庁の消費税免税品「海外直送制度」を実施したほか、3~4月に和楽器演奏と桜の演出などによる訪日客おもてなしイベント「さくらプロムナード」を開催しました。



消費税免税品「海外直送制度」
実施のお知らせ


면세 구입 상품을 한국으로 직접 배송 가능합니다.
(대상상품: 시류동은 제외됨, 수입세율, 관세 및 운임은 가함)
배송비용: 발원국인 배송료가 부과됨.
배송기간: 국가마다 상이함.


**免稅後の商品,
可直接寄送至香港和台灣.**
適用商品: 非食品類 (日用品類、書籍與雜誌飲料類)
費用: 一般運費
送附期間: 稅務署公告

March 13th-19th, 2023
 11:00 a.m. - 8:00 p.m.


GLOBAL TAX FREE



消費税免税品「海外直送制度」

「さくらプロムナード」



文化体験と、観光による地方創生を促進する「羽田エアポートガーデン Finding Japan」

I. 2023年上期 SC業界の動向 3. SCの取り組み紹介

(2) コロナ禍を経ての新たな地域共生の取り組み

コロナ禍を経た現在、“地域の参加”をキーワードに、SCが中心となり地域の人々や地元企業などとともに地域活性化に取り組む事例が目立ちます。

事例) ラブリーパートナー エルパ (福井県福井市)

4月に新たなビジョン「全世代が『これから』を楽しむ福井へ」を発表。活動の1つとして、地域のお客様とともにSCのこれからの考え行動する参加型企画「テンパ部」を創設。お客様が求めるSCづくりを進めるとともに、SCをハブに地域の活性化に取り組んでいきます。



新ビジョンと合わせて発表したキャッチコピー「、パ! (テンパ)」



6月より「テンパ部」部員を募集し、8月より活動を開始予定



県内で活動する団体や個人に無料でイベントスペースも貸し出す

Ⅱ. 2023年下期 (7~12月) オープン予定のSC等商業施設

15施設がオープン予定。大都市の再開発、業態転換が目立つ

< 主なSC等商業施設 >

京都高島屋 S.C.
(10月開業 / 京都府)



BiVi新さっぽろ
(11月開業 / 北海道)



オープン予定

15施設

Shibuya Sakura Stage
(11月開業 / 東京都)



ゆめタウン飯塚
(7月開業 / 福岡県)



JIYUGAOKA de aone
(秋開業 / 東京都)



麻布台ヒルズ
(秋開業 / 東京都)



D Box for Mori Building Co.,Ltd.

Ⅲ. 協会の主な取り組み

1. 協会創立50周年事業
2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞 発表
3. SC経営士会
4. 人材育成事業

Ⅲ. 協会の主な取り組み

1. 協会創立50周年事業

当協会は2023年4月に創立50周年を迎え、記念事業を展開中

<協会創立50周年事業の主な内容>

- 1月 **SCビジネスフェア2023**

 - ・創立50周年記念大会として開催
 - ・新規事業提案コンテスト「チャレンジピッチ～NEXT SC～」を初開催

第28回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会

 - ・「協会創立50周年記念特別賞」を新設
- 4月 **協会創立50周年**

第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

 - ・「50周年記念特別賞」を新設
- 5月 **協会創立50周年記念式典** PICK UP

 - ・「功労賞」「特別功労賞」授与、「50周年感謝状」贈呈

協会創立50周年記念媒体 PICK UP

 - ・記念写真集と記念特設サイトを制作
 - ・月刊誌「SC JAPAN TODAY」5月号より記念スペシャルコンテンツを開始
- 7月 **ショッピングセンター誌創刊50周年**

 - ・月刊誌「SC JAPAN TODAY」7・8月合併号を創刊50周年記念号として発行
- 10月～ **SC経営士会&支部「未来のSC像」研究セミナー** PICK UP (後ほどご紹介)

 - ・SC経営士会の研究とその成果発表を兼ねたセミナーを全国7支部で展開

Ⅲ. 協会の主な取り組み

1. 協会創立50周年事業

協会活動に特にご尽力いただいた企業、団体、個人などを表彰
「功労賞」25名、「特別功労賞」4名、「50周年感謝状」34社に贈呈

5月23日に開催した協会創立50周年記念式典にて、歴代会長や役職経験者、協会活動に特にご尽力いただいた企業、団体、個人25名に「功労賞」を、過去に受賞された個人4名に「特別功労賞」をそれぞれ授与しました。

さらに、協会会員として、協会創立から現在まで長きにわたり活動を支えていただいた34社には感謝状を贈呈しました。



功労賞／特別功労賞



50周年感謝状

Ⅲ. 協会の主な取り組み

1. 協会創立50周年事業

「協会創立50周年記念媒体」を制作、3媒体でアニバーサリーを盛り上げる

協会創立50周年を記念し、5月にSCのあゆみを写真で振り返る記念写真集を発行し、また記念特設WEBサイトを開設しました。さらに、月刊SC専門誌「SC JAPAN TODAY」では、2023年12月号まで記念スペシャルコンテンツを掲載します。

① 記念写真集

「人とまちと時代をつなぐ」



SCのあゆみを写真で振り返るコンテンツを中心とした写真集。特設WEBサイトでデジタル版も公開。

本日配布

② 記念特設WEBサイト



①写真集、③月刊誌と連携したコンテンツを掲載。メッセージや座談会記事など12月まで随時掲載。

① 月刊誌

「SC JAPAN TODAY」



記念特設コーナーを設けて、記念座談会を中心としたスペシャルコンテンツを12月号まで掲載。

本日配布（創刊50周年記念号）

Ⅲ. 協会の主な取り組み

2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

日本SC大賞とは

(2004年創設)

今後のSCのあり方や社会的役割を示唆するSCを顕彰することによって、SC業界の一層の発展に寄与することを目的に創設。

地域貢献大賞とは

(2008年創設)

当協会が策定した地域貢献ガイドラインを基に、地域活性化に取り組む、地域のコミュニティの核として地域住民の生活に欠かせない地位を築いているSCを顕彰する目的に創設。特に優れたSCには、協会2代目会長でSC業界の礎を築いた故倉橋良雄氏の名を冠した「倉橋良雄賞」を授与。



第9回日本SC大賞



第7回地域貢献大賞

Ⅲ. 協会の主な取り組み

2. 第9回日本SC大賞・第7回地域貢献大賞

2023年4月に受賞SCが決定、5月開催の協会創立50周年記念式典にて表彰

第9回日本SC大賞・金賞
経済産業省商務・サービス審議官賞

新静岡セノバ
(静岡県静岡市)



第7回地域貢献大賞（倉橋良雄賞）
国土交通省都市局長賞

SAKURA MACHI Kumamoto
(熊本県熊本市)





セノバで働くショップスタッフのQOL向上、楽しく・長く働き続けられる環境づくりを推進し、スタッフの元気がお客様や地域へ波及していくことを目的とした取り組みです。

トライ①

営業時間フレックスタイム制度

トライ②

パワーチャージ休暇制度

トライ③

一部ゾーンの営業時間短縮

トライ
01

営業時間フレックスタイム制度

10時

11時

12時

13時

14時

15時

16時

17時

18時

19時

20時

11時から19時までを営業コアタイムとし、前後1時間の開店閉店は各店任意で選択できる制度です。

トライ
02

パワーチャージ休暇制度

全館
休館日

全館
休館日

全館
休館日

+

ショップ^o
休業日

ショップ^o
休業日

全館休館日に加え、福利厚生を目的とした休暇を年間で最大2日希望日に取得できる制度です。

トライ
03

一部ゾーンの営業時間短縮

一部ゾーンの飲食・食物販店舗の営業時間を短縮し、集客状況に応じた営業を実施しております。

事例② 起業のつばさプロジェクト

セノバが新規出店を考える地元の起業家を公募し、その起業家のパートナーとして、次世代に活躍する静岡発ショップ経営者の発掘と育成。また、地域の起業文化の更なる醸成を図り、地域経済の活性化に繋げる取り組みです。



クッキーチーズサンドの専門店
チーズピゲもこのプロジェクト
を通じて、初めて商業施設へ
出店しました。

保護者を近くに感じながら、安心して過ごせる保育園をコンセプトに、主にセノバで働くショップスタッフのお子様を対象にした保育園です。様々な働き方に柔軟に対応した保育園となっております。



- 開園して5年
新たなサービスを提供
- ①看護師を配置し
病児保育を開始
 - ②第2子以降の保育料
無償化

セノバが主催となり、次世代を担う全国の若手SC社員を対象に静岡に集結していただき、各SCの垣根を超えた勉強会を実施する取り組みです。



積極的なディスカッションと懇親会による情報交換等により、全国レベルで同世代との横の繋がりを構築していただくきっかけづくりの場を提供しております。

事例⑤セノバのタグライン(晴れる方角へ)の制定

晴れる方角へ

もっと、あなたの暮らしを

「晴れる方角へ」

もっと、この街の未来を

「晴れる方角へ」

これからも、新静岡セノバは

あなたを乗せて進みます。

静岡の空を

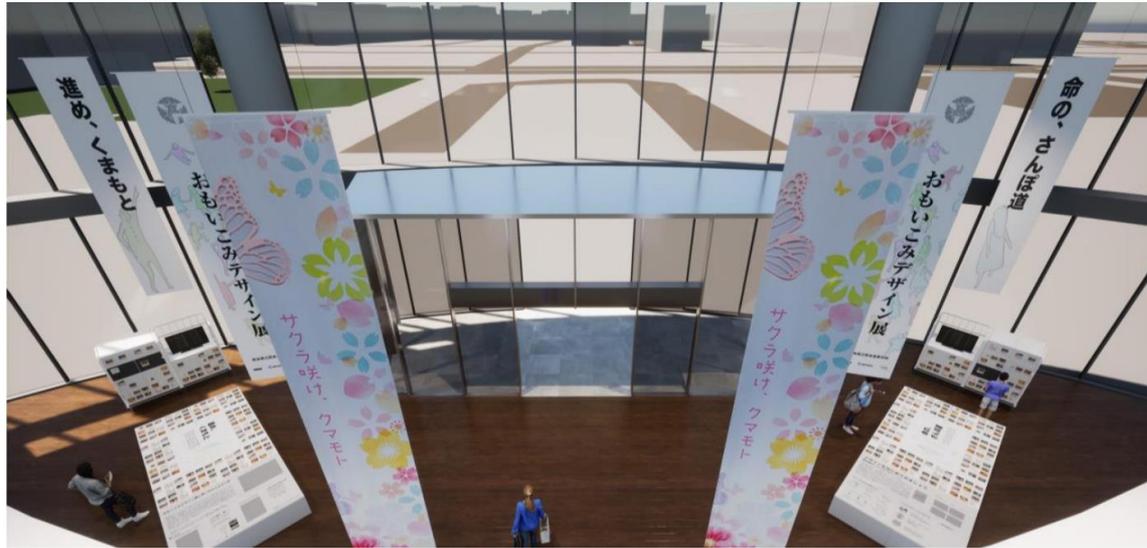
「晴れる方角へ」



SAKURA MACHI Kumamoto 施設概要



熊本県の高校とのコラボイベント



◀ 熊本高校 × NTT西日本
おもいこみデザイン展

▼ 村上宗隆選手 写真展
三冠王への軌跡



▲ 熊本県高校総体 写真展



スポーツ・文化 関連イベント



▲ プロサッカー J2ロアッソ熊本
屋上広場でのパブリックビューイング



▲ まちなか恐竜パーク



▲ 犬猫の譲渡会イベント

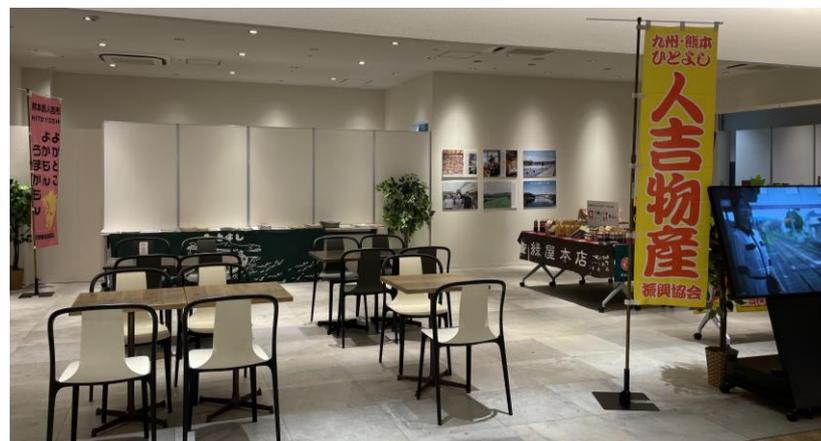


▲ シャボン玉ショー

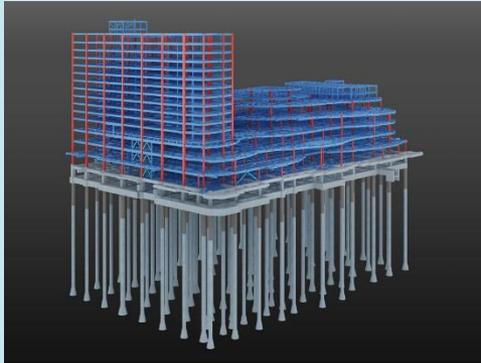
復興関連イベント



▲ 「アイドルマスター シンデレラガールズ」 × 熊本城復興応援プロジェクト



■ハード面の対応【設計に反映】

項目	内容
・耐震性能アップ	耐震重要度係数1.25
・災害時機能持続性強化	
①一時帰宅困難者受入	→11,000人/3日間 (避難に必要な備蓄や支援)
②給排水容量	→水の確保 ・井水濾過⇒飲料水利用 ・雑用水利用(トイレなど)
③発電機容量	→電力使用見直し含め3日間 (デマンド運転など)
・杭基礎工事	杭の長さ 約60m (より強固な支持地盤) 
・水害対策	一般 大水害
	1階床レベル設定 道路レベル +300mm 電気関係諸室の上階への配置 地下基幹設備室浸水対応扉

■ソフト面の対応【運営】

項目	内容
[商業施設] ・食料備蓄対応	食品売場の店頭在庫品を配布
[ホテル] ・避難場所	高齢者・HCP等「避難弱者」を優先した受け入れ
[バンケット] ・炊き出し	通常時パーティーで300人/回調理できる厨房を利用
[バスターミナル] ・仮設トイレの設置 ・救援避難者、物資	バス内及び待機所に設置 バスによる緊急輸送体制整備

■熊本市と共同しての活動【啓蒙活動】

- ・災害時対応マニュアルの策定
- ・防災イベントの開催
(避難訓練・救護救援訓練・教育の強化の実施)

■産交グループ災害時対応【支援の実践】

- ・災害時対応マニュアル・防災イベントの実践支援
- ・災害時避難誘導活動・行政による災害活動の支援
(シンボルプロムナード・花畑広場との連携)



演出照明

日常やイベント時に対応した、建物と一体となった多様な演出
(植栽及びシンボルプロムナード
ニまちなみと一体となった演出)



シトラスリボン運動



マスク・手洗い・うがい



Ⅲ. 協会の主な取り組み

3. SC経営士会

協会のシンクタンクの役割を担うSC経営士会

SC経営士とは

SC業界唯一の認定資格

資格保有者数：約800人（2023年7月末時点）

SC経営士会とは

SC経営士資格保有者で組織

- ・ SC経営士相互の研鑽と交流
- ・ SC業界が抱える課題解決に向けた研究
- ・ 専門的な見地から広範にわたりSC業界の発展、協会活動の支援

■協会のシンクタンクの役割■

例) 大学への寄附講座「SC冠講座」

～SC経営士会による
カリキュラム策定および講師派遣～

※これまで延べ47校・8,070名が受講



長年にわたる冠講座の実施を背景に、
2023年度より「教育機関（大学、専門学校）」を会員化

Ⅲ. 協会の主な取り組み

3. SC経営士会

“SCの未来像”の研究 と研究成果を発表するセミナー開催

2022年度 “SCの未来像” の研究

- 第1回「マーケティング・デジタルトランスフォーメーション」
- 第2回「テナントから見た今後のSCの在り方」
- 第3回「SCにおける官民連携と地方創成事業の実践」
- 第4回「『メタバース×SC』～今、話題のメタバースを学ぼう！～」
- 第5回「新静岡セノバから学ぶ『テナント』『地域』と共に真剣に取り組むチャレンジングな事例」
- 第6回「コロナを経て変わる消費者心理・行動変容とは？」
- 第7回「持続可能なSC経営のヒント」
- 第8回「大和リバーサイドタウンPIOにおける超ローカルSCの底力」

■当協会WEBサイト「SC経営士会」ページにて研究動画を配信中■



2023年度 【協会創立50周年記念】 SC経営士会 & 支部 “SCの未来像” セミナー

<セミナー構成>

第1単元「SC経営士会が研究するSCの未来像（仮）」

※SC経営士会が2022年度に取り組んだ研究の成果発表

第2単元「研究内容を深めるパネルディスカッション」

※第1単元の内容を受け各支部でテーマを設定、各支部におけるSCの未来像を深掘り

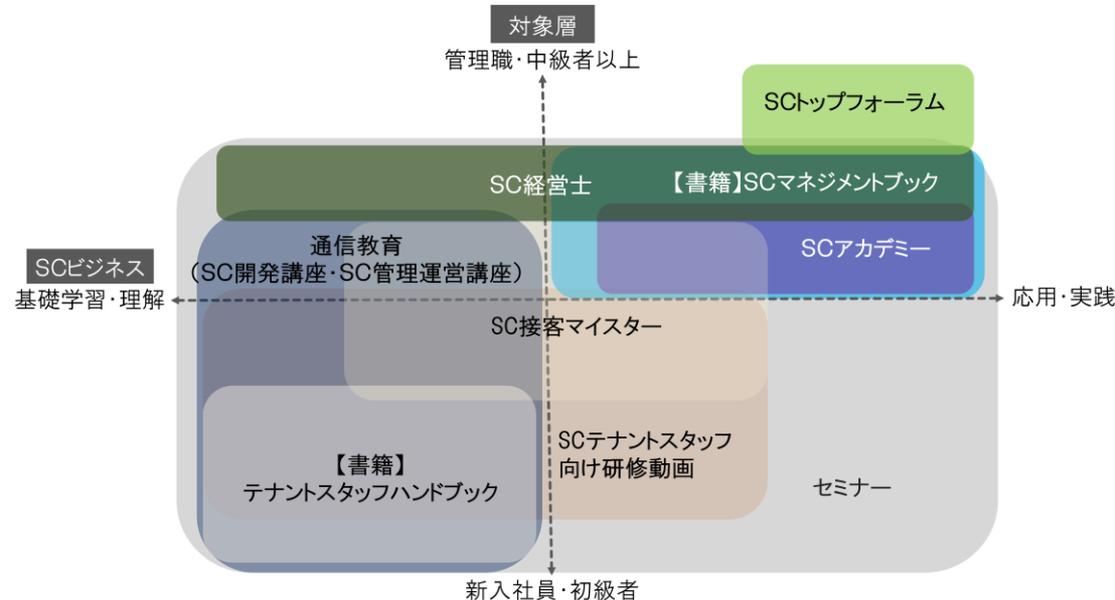
Ⅲ. 協会の主な取り組み

4. 人材育成事業

協会設立以来、SC業界の人材育成に重きを置き、これまでSCアカデミーやセミナー、通信教育などの各種プログラムを実施し、業界の人材育成に寄与

人材育成プログラム

- ・ **セミナー**
- ・ **海外研修会**
- ・ **通信教育**
- ・ SCアカデミー
- ・ SC経営士（資格制度）



他

テナントスタッフ向け

- ・ SC接客ロールプレイングコンテスト
- ・ SC接客マスター（資格制度）

Ⅲ. 協会の主な取り組み

4. 人材育成事業「セミナー」

新入社員から経営者までを対象に、SC実務に役立つ多彩な講座
アーカイブ配信（受講）期間は約1年間で、單元ごとの受講も可能

セミナー体系

- ・ 初心者から中堅層、経営層といった階層別に、SC実務を分野別にカリキュラムを構築
- ・ 講師は、第一線で活躍する実務家、SC経営士、弁護士など
- ・ リアル開催やアーカイブ受講などさまざまな受講機会を提供

2023年度セミナーの特徴

- ・ 基礎編を充実
- ・ ステップアップ編や事例研究等を体系的に整理し46本開催
- ・ アーカイブ配信期間を「約1年間」とし、再視聴による学び直しや、受講逃しも避けられる環境へ。

Ⅲ. 協会の主な取り組み

4. 人材育成事業「海外研修会（海外SC視察研修ツアー）」

2020年2月より休止していた海外SC視察研修ツアーを約3年半ぶりに再開
2023年度は計2回、米国の流通やSCを視察してコロナ禍後の方向性を探る

【創立50周年記念ツアー】

① 2023年11月 米国東海岸（ニューヨーク）

<主な予定視察先SC>

- ・アメリカンドリーム・メドウランド
- ・マンハッタンウェスト、ハドソンヤード
など



② 2024年2月 or 3月 米国西海岸



※2020年2月に米国西海岸
（ロサンゼルス・サンフランシスコ）を
催行して以来、約3年半ぶりに再開。

Ⅲ. 協会の主な取り組み

4. 人材育成事業「通信教育（SC管理運営講座／SC開発講座）」

「SC管理運営講座」「SC開発講座」を約10年ぶりにリニューアル
テキスト全面改訂・演習問題等オンライン化・オープンバッジでの修了証授与

テキスト全面改訂

SC業界を取り巻く環境変化に合わせて内容の見直しを行い、
約10年ぶりに全面改訂

演習問題・修了レポートのオンライン化

オンラインによる提出、
演習問題は自動採点へ

オープンバッジでの
修了証授与

デジタル証明・認証として
修了証を発行



マイルーム 目次 学習成績 ガイダンス

次の、わが国のショッピングセンターおよび小売業の歴史に関する記述を読み、それぞれの文中の空欄に最も適切な語句を選択肢から選びなさい。

Q1 (2点)	1970、80年代までの経済成長により家計所得が増加するとともに消費のサービス化が進み、SCも「渋谷/丸コ」、「ららぽーと」、「つかしん」など、小売機能だけでなく、時間を楽しめるホール、スポーツ、レジャー施設を含んだ複合型開発が目立つようになった。これらの大規模で多機能複合型の開発は当時「()」と称された。
	○A. ミクストユース ○B. まちづくり型 ○C. 混合型 ○D. 総合型
Q2 (2点)	1990年代頃に、店頭で販売する商品のほとんどすべてをPBとし、製品企画からその生産、流通、販売までを一貫して管理するアパレル等のビジネスが成長し、注目を集めた。それらの企業は()と呼ばれている。
	○A. PBA ○B. POT ○C. SPA ○D. TSP
Q3	1998年7月、疲弊した中心市街地の商業などの活性化を目的とした中心市街地活性化法が施行された。同法は1998年に改正された都市計画法と、2000年5月に施行されたもう1つの法律とあわせてまちづくり3法と呼ばれて

IV. 今後の予定

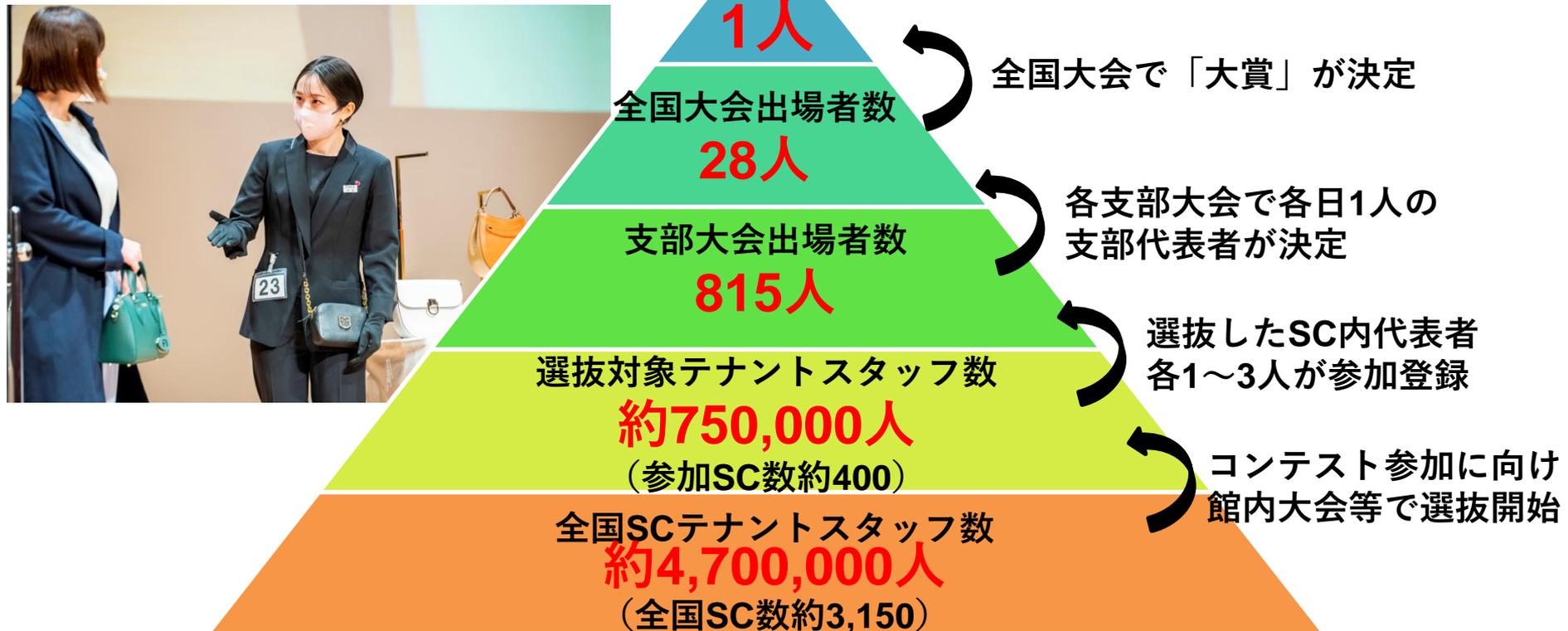
1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト
2. SCビジネスフェア2024

IV. 今後の予定

1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト

全国のSCで働くテナントスタッフ約470万人の頂点となる
「大賞」 = “SC接客日本一”を目指して9月より支部大会がスタート

大賞 (経済産業大臣賞) = SC接客日本一



IV. 今後の予定

1. 第29回SC接客ロールプレイングコンテスト

2024年1月28日(金)にパシフィコ横浜にて全国大会を開催
卓越した接客技術を披露

前回「第28回SC接客ロールプレイングコンテスト全国大会」の様子

ファッション・物販部門



競技No.

23

東北支部代表

志田 紗恵

三井アウトレットパーク 仙台港 フルラ アウトレット

JCSC
JAPAN CLOTHING SERVICE CENTER

IV. 今後の予定

2. SC ビジネスフェア2024

原点に立ち返り、「ビジネスチャンスの創出」「研鑽と交流の場」を提案！

会期：2024年1月24日(水)～26日(金) 会場：パシフィコ横浜

SCビジネスフェアとは SC関係者が一堂に集まる業界唯一の商談展示会です。



👁️注目のコンテンツ

SCの未来を創造するビジネスコンテスト

「チャレンジピッチ2024 ～NEXT SC～」

前回、協会創立50周年記念事業としてスタートしたチャレンジピッチは、SCの未来に向けて、さまざまな新事業をピッチ形式で提案。決勝大会をSCビジネスフェア2024の会場にて行います。

IV. 今後の予定

2. SC ビジネスフェア2024

SCの未来を創造するビジネスコンテスト
「チャレンジピッチ2024 ~NEXT SC~」
アイデア募集中！ 10月31日(火)締切

前回「チャレンジピッチ2023」の様子

